

番号	年月日	種別	地区名	担当部	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
1	H27.8.7	市政懇談会 (H27)	花西	教育部	文化財課	「旧花巻市防空監視哨」跡地について①	若葉町の旧花巻防空監視哨は昭和17年に建てられたもので、岩手県内で唯一残存するもの。20年位前からこれを残していくための方法について話を重ねながら現在に至っている。戦争を語り伝えていくためのものとして何とか残してもらいたいと考えているが、市の考えを伺いたい。	若葉町にある旧花巻防空監視哨の歴史的重要性は認識している。平成13年度に市教育委員会の文化財調査委員による測量調査と詳細調査が行なわれ、平成14年8月に報告書としてまとめられている。文化財調査委員会からは、防空監視哨そのものを残すよりも、あったことを記録として残すべきとの報告がなされており、教育委員会も地域の方々にこの考え方を伝えてきたところである。また、個人所有の土地であるほか、市内でも土地単価の高い場所のため、公共用地として市が取得することは財政的にも困難と考えている。土地取得ありきになるとハードルが高くなり、20年以上この状態が続いているので、今後はどういう形であれば活用できるものか地域住民の方々と協議し、土地所有者のご理解を得ながら進めていきたい。 公共用地としての取得については優先順位をつけて考えていくことだが、今は伊藤家住宅(武家屋敷)の方が優先順位が高いと思う。
2	H27.8.7	市政懇談会 (H27)	花西	教育部	文化財課	「旧花巻市防空監視哨」跡地について②	旧花巻防空監視哨を残していく方策の一つとして、例えば名称を平和公園などとして、公園として残すことはどうか。	公園としての活用は近隣に公園があるため考えていない。やるとすれば史跡として整備することだろうが、国の補助金もないため、市の予算を使えるかという話になると思う。
3	H27.8.7	市政懇談会 (H27)	花西	教育部	文化財課	「旧花巻市防空監視哨」跡地について③	監視哨についてそれほどお金をかけなくてもいいのではないかと考えている。説明板を設置するとか町内会とか周辺の方々に草刈りをしてきれいにするということなどから始めてみてはどうかと私個人は考えている。そういう意味で残す、保存することで教材として重要なもの、役立つものになるのではないのかなと考えている。	文化庁や岩手県教育委員会から指導を仰ぐとともに、花巻市文化財保護審議委員の皆様から意見を伺い、併せて地域の皆様と保存策・活用策・市民への啓発策について協議を続けてまいります。
4	H27.8.7	市政懇談会 (H27)	花西	建設部 健康福祉部	都市政策課 健康づくり課	旧厚生病院跡地の利用と中心市街地活性化について	総合花巻病院の厚生病院跡地への移転が実現すれば、中心市街地への活性化には大きなインパクトとなると思う。これに合わせて病院の周辺部に高齢者向けの住宅や、市外から移住してくる若い人向けの住宅、更には老朽化した市営住宅などを病院の周辺に整備(移築)すれば中心市街地の人口増加につながるのではないか。	病院に介護施設を加えて利益を出しているケースも実際にあるので、総合花巻病院の移転構想の中には高齢者向け住宅や介護サービス付き住宅についても盛り込まれる可能性が高いと思う。また、総合花巻病院は看護学校も経営しており、1学年で40人、3学年で120人の若い看護学生が来るとなれば街の活性化につながるものと期待している。さらに、高齢者や若い人たちが住む住宅、市営住宅については立地適正化計画の中で検討しているが、中心市街地の土地取得も含めて、市がつくれるものなのか、それとも民間で採算が合う形でつくるのかを検討しているがまだ見えていない。市営住宅であれば所得制限があるが、所得制限がないような形のを民間活用でできればよいと思う。
5	H27.8.7	市政懇談会 (H27)	花西	商工観光部	商工労政課	買い物難民について	中心市街地には高齢者が日用品を買いものできる店舗がない。日常生活に最低限困らない程度の食料品が揃う中小規模のスーパーがあればよい。商店街の方々のお考えもあるが、例えば商店街の方々が出資金を出し合ってそうしたスーパーなどを作っていただくという方法もあると思う。また、病院や買いものに来る人たちの駐車場の確保をどうするかも重要だと思う。	中心市街地の買い物難民の話はよく聞くが、買い物難民は中心市街地に限ったことではないと思う。市内の大手スーパーが行っている移動販売もあまり上手くいっていないようだ。いずれ、できることについて引き続き考えていきたい。また、街の中心部に店を置くのは今の状況では難しいと思う。要するに企業だから利益がないと、人が買いに来ないともたない。上町にできた八百屋や、館坂にある魚屋をできるだけ使って残していく努力を街の人たちにしていただきたい。また、商店主の方たちがまとめてやることについては、どんどん店が減っていく中で新たな事業をやっていくという雰囲気にはないだろう。上町の駐車場も予想より利用者が少ない状況のようだ。まずは人が住む街にしていこうから進めていくことだと思う。
6	H27.8.7	市政懇談会 (H27)	花西	総合政策部 商工観光部	秘書政策課 商工労政課	人口増加に向けた施策について	人口を増やすために企業や研究機関の研究施設を誘致するのはどうか。花巻市は交通の便も整っているほか温泉もあり、比較的土でもあるから研究機関が1つ2つ出来れば、人口が急激に増えるのではないにしても20～30人の研究者が移住してきて、そこに家族が住むようになり、花巻のイメージが大きく変わるのではないか。リトル筑波学園都市のような夢を考えてもいいのではないか。	工学系大学と違って、文科系大学の近くにIT企業や研究施設が集まるケースはあまりない。ただ、IT企業、例えばソフトを作るような会社をもってこれないものかとは考えている。花巻には花巻出身の人を開発者として雇用している企業もある。こういう開発型の企業を応援したいと考えている。さらに、人口を増やす為に可能性があるのはCCRCが挙げられるが、この場合は介護職員数の確保が問題。雇用が厳しい状況にある中で、都会から看護師や介護士を持ってくるのが可能かどうか。都会から移住してきた元気な中高齢者が富士大学に学びの場を得るということも、可能性は検討してもよいかもしれない。

番号	年月日	種別	地区名	担当部	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
7	H27.8.7	市政懇談会 (H27)	花西	総合政策部 教育部	秘書政策課 教育企画課	人口減少に伴う私立学校に 対する市の支援策について	人口減少が見込まれる中であって、市内にある私立学校(高校、大学 等)も入学者数の確保に向けて、市は何らかの支援を行う予定はない のか。	花巻東高校は県内の私立高校の中で非常に評価が高く、富士大学も 東北の私立大学の中では就職率もよく黒字経営を続けている。両校と も県内外から学生が集まることから、そういう意味でも重要な学校であ り、存続について注視していかなければならない。花巻東高校について は市からも私学運営補助金を出しているほか、更に高校野球等全国大 会に出場する場合にも支援している。いずれ、それぞれの学校と話をす ることは大事だと思う。富士大学とは市との協力関係について話し合 いの場を作る予定としている。
8	H27.8.7	市政懇談会 (H27)	花西	建設部	道路課	後川の環境整備について	下北万丁目公園と後川沿い付近に小熊の出没情報があり去年はカモ シカが出た。後川の周辺が獣道になっているのではないかと。市に対 応を求めても川の両側が民有地であるため中々対応できないとの回答 が以前にあったが、市で何か対策をとってもらえないものか。	民有地であっても市から除草するように所有者にお願いしているところ。 要望があればお話しいただきたい。
9	H27.8.7	市政懇談会 (H27)	花西	商工観光部	観光課	花巻まつりについて	花巻まつりにおける花巻神輿のルーツが残っていくようにできないもの か。様々なところから神輿が集まっているが、例えば花巻神輿とそれ 以外を分けて行うなど、もう少し調整はできないものか。	花巻まつりはまつり実行委員会が主体となって運営している。花巻まつ りをいかにするべきかはいろいろな意見があると思う。歴史を大切にす ることは大切なことだが、今は観光まつりとなってきているのも事実であ り、まつりの在り方自体が変わっていくものだと思う。いずれ祭り実行委 員会の中で考えていくことだろうと思う。
10	H27.8.7	市政懇談会 (H27)	花西	総合政策部 健康福祉部	秘書政策課 長寿福祉課 健康づくり課	人口減少対策について	日本創生会議によれば首都圏では高齢者が増え、首都圏の医療施設 や介護施設だけでは対応しきれなくなるため、地方へ移住させてはどう かと考えているようだが、地方においても医師数は足りないし、介護施 設も順番待ちしているような状況だ。市の人口減少対策としては若者の 雇用の場の確保が大事だと思うがどう考えるか。	ご提言のとおり医師数や介護施設数が足りない中にあるが、若い方が 花巻に住んでくれて花巻の活性化になる可能性があるなら検討する余 地もあると思う。ただ、まずは花巻市民がきちんとした介護や医療を受 けられる体制を作っていかなければならないと思う。
11	H27.8.7	市政懇談会 (H27)	花西	建設部 生涯学習部	都市政策課 生涯学習交流課	花巻図書館について	図書館の検討状況についてお話しいただきたい。	現在、立地適正化計画の中で図書館をどこにつくるか検討しているところ。 先日、一関市の図書館を見てきたが、広くて素晴らしいものだった。 あのような図書館を中心市街地でつくろうとすると場所が限られ、例え ば総合花巻病院の跡地が挙げられるが、市民と意見交換しながら決め ていかなければならない。今は総合花巻病院の移転に花巻市としてど の位の額が必要となるのかも見えていない状況なので、こうした点が明 らかになってから具体的な話を進めていくことだと思う。
1	H27.8.21	市政懇談会 (H27)	宮野目	建設部	道路課	4号線バイパスとの立体交差 (アンダーパス)の冠水危険 予知対策について①	国道4号線花巻東バイパスと市道下似内縦断中央線との立体交差がゲ リラ豪雨等で冠水した場合の車両水没事故の未然防止策についての 見解を伺いたい。	地震発生時やゲリラ豪雨等で冠水が発生するような場合には、道路パ トロールを実施し、通行止めの処置を行うなど交通の安全確保に努め ている。東日本大震災時には長期停電のために雨水ポンプを稼働させ る発電機の手配に時間を要し冠水したが、それ以降は冠水したことは ない。今後は引き続きパトロールを行っていくほか、危険個所の周知を 図るために「注意喚起看板」の設置と路面冠水時に水位がわかる「冠水 チェックライン」を10月末までに設置したい。また、気象情報の収集及び 初動体制の確立を図るなど、市、警察、消防と危険個所の位置の確認 や冠水が発生した場合の対応について情報共有を進めたい。
2	H27.8.21	市政懇談会 (H27)	宮野目	建設部	道路課	4号線バイパスとの立体交差 (アンダーパス)の冠水危険 予知対策について②	震災時には停電が数日続き、ポンプアップできずに冠水した。交通量も 増えてきていることもあるので、パトロールだけでなく危険予知設備(パ トライト、回転灯等)の設置もしてほしい。	パトロールの強化をするほかに、冠水チェックラインの設置をまずは進 めたい。その他の設備は今後検討したい。 パトロールについてはマニュアル化を進めるなど、確実に対応できる仕 組みを構築することとしたい。

番号	年月日	種別	地区名	担当部	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
3	H27.8.21	市政懇談会 (H27)	宮野目	市民生活部	生活環境課	ゴミの減量化に向けた施策について①	市民一人当たりのごみの排出量が北上市並になると多額の費用の削減が図られることが見込まれる。ゴミの減量化に向けた市の施策について伺いたい。	後藤野に新しいクリーンセンターを建て、本年10月から本格稼働の予定。これに合わせてゴミの分別や減量に向けた住民説明会や出前講座を行ってきたほか、8月15日の広報と同時にゴミの分別に関する大辞典を全世帯に配布するなど市民の意識啓発を行ってきた。ゴミの減量化推進については再資源化の推進のために資源回収をしているが、ここ数年回収率の伸びが下がっているため積極的にPRしたい。ごみの4割ほどは紙類なので、これをいかに資源回収に回すかが大切で、新聞とか雑誌等に加えて雑誌などの回収も進めていきたい。 中部行政組合の運営費は利用量が多くなるほど負担が大きくなるので、減量化を進めていきたいと考えている。ゴミの排出量を北上市のレベルまで落とすには10,000tくらい減らさなければならず、人口で単純に割ると1人当たり1年間で約100kg位減らすことになる。なかなか厳しいかもしれないが、ゴミの中での紙の割合が高いので、紙の資源化に向けて取り組んでいきたい。
4	H27.8.21	市政懇談会 (H27)	宮野目	市民生活部	生活環境課	ゴミの減量化に向けた施策について②	ゴミの排出量の計画値はあるのか。計画値の達成に向けて有効な方策はないものか。	今年度、廃棄物処理計画の見直しを予定しているため、その中で今後の目標値を精査したいと考えている。北上市ではごみの回収の有料化をしているが、花巻市では現在有料化については考えてない。市民の皆さんの減量化の取り組みを積極的にやっていただくよう、市でも取り組んでいきたい。
5	H27.8.21	市政懇談会 (H27)	宮野目	教育部	博物館	博物館への寄託について	宮野目地区で会員30名ほどのふるさと会を主催している。ふるさと会では花巻でも屈指の歴史の研究者であるカマダタツオ氏の研究資料を遺族にお願いし、博物館に寄託していただいた。市で感謝状を出していただくことは検討できないか。	感謝状の対応については、教育委員会にこの旨伝えるので後日、回答する。 故鎌田氏の遺族から文化財関係資料などの寄贈を申出されているが感謝状寄贈の対象にはならない。また旧花巻市文化財調査委員会委員の歴任や古文書解読など文化財事業への功績については、平成11年2月に逝去され相当期間が経過していることから遡及して顕彰することは難しいと考える。 研究資料を寄託していただいた件については、感謝を申し上げる。以前は古文書を解読できる職員がいなかったが、今年度、博物館の学芸員として一人採用し、来年度、さらにもう一人採用を検討している。市内には貴重な古文書がたくさんあるが研究されていないものも多々ある。少しずつではあるが、精査をしていきたい。
6	H27.8.21	市政懇談会 (H27)	宮野目	建設部	道路課	土木要望について	地区内の道路の排水路にガードレールがなく危険な箇所がある。一度現地を確認していただきたい。	圃場整備により排水路が整備されたと思うが、その際に、併せてガードレールも整備されれば良かったと思う。土木要望については、各地区ごとに取りまとめいただいているが、要望があった所については、現地を確認したうえで経緯など調査しながら検討したい。
7	H27.8.21	市政懇談会 (H27)	宮野目	総合政策部	総務課	マイナンバー制度について①	マイナンバー制度について、個人情報は大丈夫か。市の対応について伺いたい。	マイナンバー制度については、市でも準備を進めており、今年10月から12ケタの番号が個人に通知される。個人番号カードの交付申請をしていただいた方には、来年の1月以降、カードを交付し、市役所など各種手続きで利用できることになる。また、4月以降は個人番号カードを使い、コンビニエンスストアで住民票等証明書の交付を受けることが可能となる。個人情報については、年金機構での個人情報の流出があり懸念されと思うが、市では、役所以外の外部とは連結をしておらず情報が流出しないようにセキュリティ対策を講じている。個人番号カードは必要な方が申請いただき、不要な方は申請いただく必要はない。
8	H27.8.21	市政懇談会 (H27)	宮野目	市民生活部	市民登録課	マイナンバー制度について②	マイナンバー制度が導入されると、住基カードの取り扱いはどうなるのか。	住基カードについては、個人番号カードの交付が始まる来年1月以降は、新規の発行は行わない。ただし、所持している住基カードの有効期間内は引き続き使用可能である。
9	H27.8.21	市政懇談会 (H27)	宮野目	健康福祉部	健康づくり課	医療機関での対応について	今年の3月まで花巻温泉病院に通院し、担当医から紹介状を書いていただき別の医療機関に通院しているが、窓口での事務員の対応や医者の対応があまり良くないと感じる。医療の質の向上のためにも市として指導していただきたい。(意見のみ)	

番号	年月日	種別	地区名	担当部	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
10	H27.8.21	市政懇談会 (H27)	宮野目	健康福祉部	長寿福祉課	介護予防教室について	平成29年度からの地域の介護について、市では検討していると思うが可能なかぎり早く地域に落としていただきたい。もう1点は、介護予防事業の一環で行われている介護予防教室の「元気でまっせ体操」のパンフレットを見たが大阪弁となっている。市民に馴染みがあるような名前で実施した方がよいと思う。(意見のみ)	
11	H27.8.21	市政懇談会 (H27)	宮野目	商工観光部	観光課	花火大会の時期について	8/22に行われる花火大会の日程をお盆期間とか、人がたくさん来るような時期に実施できないものか。	昔は、お盆の時期に実施したと記憶しているが、これに対して市長個人の意見が優先するというのではないと思う。実行委員会に意見を伝えていただきたい。
1	H27.8.25	市政懇談会 (H27)	矢沢	建設部	道路課	国道及び県道の道路要望について	国道、県道の道路要望について国道456号線のJR釜石線の踏切の拡張の問題や県道東和花巻温泉線の付け替え工事と、島バイパスの道路整備の見通しはどうなっているか伺いたい。	国道456号線のJRの踏切は、現在工事中で県からは、今年度中に完成予定と伺っている。東和花巻温泉線の付け替えについては市の事業で今年度測量設計を行う予定。また、島バイパスについては、県及び市も国の社会資本整備総合交付金事業により、進める予定としているが、現在、国からの交付金が大幅に減らされ非常に厳しい状況となっている。道路予算の確保に向けて要望活動が続けていきたい。
2	H27.8.25	市政懇談会 (H27)	矢沢	総合政策部 生涯学習部	地域づくり課 生涯学習交流課	来年度以降の生涯学習事業 (地域づくり含む)について	平成28年度からの生涯学習事業について伺う。振興会では、以前の矢沢地区公民館で行っていた公民館活動に関する業務は定着しているが、生涯学習事業に関しては、企画を考えたりする人員を確保し体制を充実させる必要があると考えるが、なかなか良い人材がいない状況である。この状態で生涯学習を引き受けた場合に、公民館活動にも支障がでるのではないかと危惧している。市から生涯学習事業をスムーズに引き継げるような仕組みを考えていただきたい。	平成28年度は、市の生涯学習担当がコミュニティ会議と協力しながら支援を行い、平成29年度以降は本格的にコミュニティ会議が中心となり生涯学習事業を行っていただく方向で考えている。現在は、市の生涯学習担当と振興センターの非常勤職員が中心となって企画し講座を実施しているが、今後はコミュニティ主催の方向で行っていただく。この意図は、各地区の状況に応じて柔軟な事業展開を目指してほしいと考えている。例えば地域の事業を連携して展開するなどこれまでの形にとらわれることなく自由な発想で展開していただければと思う。また平成28年度に限り、生涯学習事業費にかかる予算については、コミュニティに手当することで考えているが、平成29年度以降については、まちづくり交付金の中で対応していただきたいと思っている。以前に話があったバスの利用については、地区によって様々な事情があると思うので、今後詰めていきたい。 地域づくりについては、来年度以降は、現在、非常勤嘱託員として勤務している職員の人件費も指定管理料に上乗せして交付する。これにより、来年度以降は、更に、コミュニティ会議が主体的に地域づくりを担っていただくことで代表者からは理解いただいた。市の体制としては、地域づくり課内に地域支援室を置き、花巻地域を2名の支援監と更に担当職員を配置して引き続き支援を行っていきたい。
3	H27.8.25	市政懇談会 (H27)	矢沢	市民生活部	生活環境課	太田油脂の悪臭問題について	太田油脂の悪臭問題についてお聞きしたい。以前に比べてだいぶ臭いは改善されてはきたが、まだまだ臭いがきつい日が多くある。市として、悪臭がでないように指導していただきたい。	市では、定期的に立ち入り調査や、脱臭装置つけるように指導をしているが、改善されない状況である。今後も、法律の範囲内で最大限に悪臭がなくなるように指導を続けていきたい。
4	H27.8.25	市政懇談会 (H27)	矢沢	総合政策部	総務課	世界平和について	花巻市は非核平和都市宣言をしており、また、今年は戦後70年という節目でもあり、市から世界平和について発信ができないものか。	これについては、市長の職務の範囲を超えており対応は難しい。例えば議会で請願を採択するとか市民の中で運動を起こして提言していくことが大事ではないかと思う。
5	H27.8.25	市政懇談会 (H27)	矢沢	建設部	都市政策課	新花巻駅周辺の整備について	新花巻駅周辺の土地の所有者が市街の方が多いため、荒地地となり草も伸び放題の状態となっている。以前に地域から市の担当課長に要望し、前向きな言葉をいただいたが、根本的に不在地主の土地を解決しなければならぬと思う。市で土地の開発について働きかけるとか、解決策を検討していただきたい。	新花巻駅周辺の土地の中で不在地主の土地割合がどのくらいあるのか。そして、必要があるのか大きな課題であり、色々考えなければいけない。しかし、ここ数十年同じ問題が続いており、良い解決策が出てこないのだと思う。土地が荒地放題となっている状態は良くないことから、重要な問題と認識している。今後も、解決策を考え続けていきたい。また地域から、是非解決に向けたいろいろなアイデアがあれば教えていただきたいと思う。
6	H27.8.25	市政懇談会 (H27)	矢沢	総合政策部 教育部	秘書政策課 教育企画課	富士大学の存続について	富士大学の図書館を利用しているがとても貴重な施設だと思っている。今後、少子化による生徒の減少で経営が厳しくなるのではないかと危惧している。市では富士大学についてどのように考えているのかお聞きしたい。	現在、富士大学は黒字経営であり、今後すぐに経営が危ぶまれることはないと思う。仮に、富士大学が無くなった場合、学者、職員、学生がいなくなり当市への影響は大きいと思うので存続していくように注視し可能な支援をしていきたい。

番号	年月日	種別	地区名	担当部	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
7	H27.8.25	市政懇談会 (H27)	矢沢	建設部	下水道課	下水道分担金の算定方法について	下水道の分担金の算定は、何を基準にしているのか。なぜ宅地の面積を基準に算定しているのかお聞きしたい。	当市の下水道分担金は合併後も旧花巻市の算定方法も続けている。 下水道分担金を算定するにあたっては、宅地の場合、公共下水道が入ったことにより土地の価値が上がるという考え方により受益者に負担をいただいている。この考え方に疑問を感じることは理解できるが、全国的にもほとんどの自治体が同様の算定方法を採用している。昨年、公共下水道の計画について見直しを行い公共下水道区域の範囲縮小を行った。下水道区域外の住民に対しては合併浄化槽を推進していきたい。
8	H27.8.25	市政懇談会 (H27)	矢沢	建設部	都市政策課	空き家対策について	空き家が増えていると思うが、市では空き家に対してどのような対策を考えているのか。	空き家対策については国で新たに法律をつくり、今年の5月末にガイドラインが施行された。ただし、空き家対策は個人の財産のため周辺の方によほど大きな迷惑や被害をあたえない限り市では簡単に手を出せない法律となっている。現在、市では空き家対策計画を策定中だが、例えば、周辺住民や通行人に危険が及ぶ空き家でも危険な部分だけを除去が可能となっている。今後、他の自治体とも情報交換しながら計画を進めていきたい。
9	H27.8.25	市政懇談会 (H27)	矢沢	財務部 建設部 健康福祉部	契約管財課 都市政策課 障がい福祉課	まん福及びこどもの城構想について	まん福跡地とこどもの城構想の問題をどのように考えているのか。	まん福については約8900万かけて取得し改修したが、法律的に問題なく使用するためには更に1億3000万円以上の改修費がかかる見込み。 更に1億3000万円の費用かけて市の施設として使用することは考えられない。今年度100万円を予算措置をしてまん福の利用方法について外部の意見を聞いて、他の利用方法がないか検討することになっている。 こどもの城については、旧厚生病院跡地で構想をしていたが、ヒ素が検出され県からの取得の時期の見通しが立たなかったこと。また十分なスペースが確保されないことなど様々な問題があり、また、こどもの城に集約する施設関係者・利用者保護者などの意見を改めてお聞きしたところ旧厚生病院跡地に集約することに積極的ではなかったことから、図書館とこどもの城と一緒に造るのは無理だろうという結論となり、この構想はなくなった。こどもの城構想の中で大きな柱であったイーハートブ養育センターは、現在、市社会福祉協議会の建物の中にあり、あまり環境がよくないことから別に独立した建物を造ることとなった。運営主体である市社会福祉協議会や関係者と協議を重ねながら、不動産の市有地を設置場所として基本設計を進めている段階である。
10	H27.8.25	市政懇談会 (H27)	矢沢	総合政策部	秘書政策課	定住自立圏について	定住自立圏の中心地の要件が変更になったようだが、以前聞いた時には、昼夜の人口割合で、花巻市は要件を満たさないということだったが、どこが緩和されたのか、中心地になる見込みはあるのか。	定住自立圏の中心地の要件については、昼夜間人口比率が1以上となることが基準の要件となっている。当市は0.96のため全然足りない。特例措置として合併した自治体の中で一番人口の多いまちの昼夜人口比率が基準値を超えていれば中心地となれる。当市の場合は、合併した平成18年1月1日前の平成17年の国勢調査が基準となるが、夜の人口が11人多かった。昨年、全国市長会を通して国に対して基準要件の見直しを要望し、今年1月の閣議により国において見直しがされているところである。花巻市が中心市となることが可能となるよう県の協力も得て、国に対して働き掛けているところ。
11	H27.8.25	市政懇談会 (H27)	矢沢	健康福祉部	国保医療課	葬祭費について	国保加入者が亡くなった場合に葬祭費として3万円支給していたと思うが、火葬のみで済ませた方が市役所に手続きに行った際に、火葬だけでは葬祭費は支給されないと言われた。火葬だけでも支給されないのか。	おそらく葬式の有無に関わらず支給されていたと思う。担当課に確認し連絡したい。 葬祭費は葬祭を執り行った方に支給されるものであり、申請にあたって喪主や葬祭日が分かるものとして、会葬礼状、葬儀店の領収書などを提出していただいている。火葬だけでは葬祭費を支給していない。 ※発言者に連絡済み

番号	年月日	種別	地区名	担当部	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
1	H27.8.31	市政懇談会 (H27)	太田	生涯学習部	生涯学習交流課	来年度以降の生涯学習事業 について	生涯学習事業の取り組みについて、現在は市の指導のもとで市非常勤職員が生涯学習事業をしている。平成28年度以降はコミュニティ会議で実施することになるが、次期生涯学習計画の中で地域に何を期待し役割をどのように考えているのか。 当地域にも各種団体があるがその関わりや協力についどのような考えなのか伺いたい。 平成26年度、市の講座の中で利用の状況が多い講座について教えていただきたい。	来年度から振興センター単位での生涯学習事業についてはコミュニティ会議に願う。地域の特色を生かして自由度の高い生涯学習事業が展開していけるのではないかと期待している。地域で生涯学習事業に担う新たな人材の掘り起しに取り組んでいただくなど、人材育成の部分も力をいれていただきたい。 地域の団体との関わり方については、例えば、地元団体等と連携した講座を設け、お互いが企画している事業を共同で運営することで、お互いの目的を達成することができるし、組織の連携あるいは活性化にもつながっていくのではないかなと思う。 ふれあい出前講座の人気の高い講座について、公共事業編で人気が高いのは、年15回行われたゴミの減量化。生涯学習講師編では、3B体操が1番という状況。
2	H27.8.31	市政懇談会 (H27)	太田	市民生活部	市民登録課	来年度以降の証明業務及び	振興センターでの証明業務が廃止することにより行政サービスの低下が危惧される。	証明事務は1日にゼロから数件という状況であり、職員の引き上げに合わせ証明事務について廃止する。高齢者世帯の方、障がいをお持ちの方等には、現在試行している証明書等宅配サービスを利用していただきたいし、マイナンバー制度が始まることで申請者にカードを交付するが、そのカードを使って証明書等をコンビニで発行できるサービスに切り替えていく考えである。
3	H27.8.31	市政懇談会 (H27)	太田	総合政策部	防災危機管理課	災害時の避難対応について	振興センターや社会体育館は当地区の避難場所として指定されているが休日、夜間等の対応はどのように考えているのか。	災害時について、災害基本法の改正に合わせ防災計画も直し振興センターが指定緊急避難所となった。災害が発生するおそれがある、あるいは発生した場合に、1泊から2泊程度の初動避難場所として振興センターを使うことになっている。勤務時間内であれば非常勤職員のほか地区担当の職員を配置、夜間、休日は職員を2人体制で配置する。来年4月からは平日、休日、夜間に問わず、市職員を配置する体制とする。コミュニティ会議には、対応が可能なときは鍵をあけていただきたい。実際に対応するのは職員である。
4	H27.8.31	市政懇談会 (H27)	太田	生涯学習部	国体推進課	国体について	国体の開催について、道路沿線において花いっぱい運動や草刈りなどの環境整備について自分たちで行おうと話しているが、選手に対して、みそ汁などを振る舞うことはできるのか。 また、会場にて地元の特産品の紹介や販売スペースを設置していただけるのか。	国体開催に向けて、沿道の整備や花いっぱい運動の取り組みについてよろしく願いたい。 地元婦人会によるみそ汁などの提供は、保健所から厳しく指導があり、今後相談しながら、本番に向けて準備を進めていきたいと考えている。 物販販売ブースの設置については、出店料を納付していただくこととなるが、広く公募をする準備を進めているので、ぜひ申し込んでいただきたい。
5	H27.8.31	市政懇談会 (H27)	太田	建設部	道路課	太田橋について	太田橋の架け替え工事について、来年には開通予定と聞いているが、開通にあたり市で行事を実施する予定はしているか。また、地元での行事を行うにあたり市からどの程度支援していただけるのかお聞きしたい。	予定どおり工事が進んでおり、予定では来年の8月末には通行可能である。 完成式典については9月初旬に行うことができる。なお、通常は橋の完成については、完成式典を市が主催する。それから祝賀会については、地元が主催することが慣例となっている。完成目安がたち次第、地元にご相談に伺いたいと思っているのでよろしく願いたい。

番号	年月日	種別	地区名	担当部	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
6	H27.8.31	市政懇談会 (H27)	太田	建設部	都市政策課 道路課	公共交通について①	公共交通について、柴林地域においては平成23年10月から岩手県交通のバス路線が廃止され、代わりに乗り合いタクシーを運行していたが、長続きせず終わってしまった。今年4月には、高村光太郎記念館がリニューアルオープンし入場者が増えているという話を聞いた。平成25年度の施策で生活道路の整備、公共交通確保対策、空白の地域の解消を示しているが、このことについてどのように進んでいるのかお聞きしたい。	岩手県交通太田線のバス路線について、清風支援学校から高村山荘の区間について廃止されたが、地元の強い要望があり、デマンドタクシーを試験導入したものの基準が満たされず廃止された。 太田線については、高村光太郎記念館のリニューアルによる観光客の増加が見込まれることや地元の強い要望もあり、年度当初に岩手県交通に対して太田線延伸及び増便の要望を行った。乗客の確保やバスの運転手不足など厳しい状況の中、10月1日から11月30日までの2ヶ月間を試験運行するために、国の許可申請などの手続きを進めていると伺っている。 来年度以降については、試験運行の状況で判断することになると思う。市の公共交通については、東京大学が開発したオンデマンドシステムの導入を検討している。来年度に石鳥谷地域又は東和地域で新システムでの試験運行を行い、その結果をもとに、今後の事業について検討していきたいと思っている。 熊野内野線の事業については、橋の完成と一緒にできれば良いと思って進めているが、国の補助金が減らされていることから、大変厳しい状況となっている。道路整備については、国の補助金がないと進められないため、国に対して、今後も道路整備予算確保のために強く要望を続けていきたい。
7	H27.8.31	市政懇談会 (H27)	太田	建設部	都市政策課	公共交通について②	10月から11月まで試験運行を予定しているようだが、利用率は1便あたり何人となっているのか。または、採算ベースとなるのか。	利用率というよりは、採算で1ヶ月あたり45万円ほどの経費を運賃で賄わなければならない非常に厳しい。そのため、オンデマンドシステムの導入を検討している。
8	H27.8.31	市政懇談会 (H27)	太田	商工観光部	観光課	観光スポットについて	観光について提案したい。当市の周辺部には、他市町村にはない宮沢賢治や高村光太郎の記念館が整備されているが、市の中心部には文化の香おりがしない。そこで、まなび学園を拠点として、花城橋の下を流れるせせらぎ通りに花巻ゆかりの偉人達のオブジェ、モニュメントなどを点在させて、さらに上町をとおり豊沢橋までの間にお土産品や花巻創作グルメや偉人にまつわる料理などを振る舞うお店や休憩所をつくれれば、町の活性化につながるのではないか。周辺部の観光地とセットにして、観光客を街中に呼びこみお金を落としてもらう。旅行会社などを通じて全国にPRする。花巻はいいところはたくさんがあるが生かし切れていないと思う。	提言のとおり観光に来ていただいてもお金を落としてもらわなければお店は元氣にならない。宿泊してもらうための魅力をつくることは大切である。その中で、まず市の中心部にあるマルカン食堂が全国区で人気となっており、耐震化については市からの補助も検討し、今後も残していきたいと考えている。これにより、今後も花巻の中心部に観光客が来ると思っている。その上での話になるが、街中観光と盛んに言われているが、大事なことは、市がこれをつくればうまくいくのではないかとっても駄目で、観光客がこれを目当てに来たいと思えるような魅力のあるものをつくらなければいけないと思う。これまで、似たようなアイデアを言ってくれる方はたくさんおり、新花巻駅から賢治記念館までの間に賢治のオブジェを設置したが、これにより観光客は増えてはいない。境港市では、「ゲゲゲの鬼太郎」のオブジェを作ったところこれを目当てにとても観光客が増えている。もし、提案いただいたアイデアが良いとすれば、これは観光客の人たちが本当に、来たいと思うのかを確認する必要がある。
9	H27.8.31	市政懇談会 (H27)	太田	農林部	農政課	岩手のオリジナル品種107、118号について	岩手のオリジナル品種107、118号が開発されたと聞いた。当市では、ひとめぼれが2000町歩作付されているが、花巻に118号が入ってこないと聞いているし、107号は西和賀と遠野地区に作付されると伺った。118号については、県南の特Aのお米を作っている農家に優先的に栽培してもらおうようだが、花巻にも入ってくるように働きかけていただきたい。	107号については、来年度から、標高240m以下のうち、ひとめぼれの栽培適地を除いた農家に推進すると聞いている。118号は、こしひかりよりおいしいと言われており、できれば花巻にも早めに作付されるように県に要望していきたい。
10	H27.8.31	市政懇談会 (H27)	太田	教育部	文化財課	花巻市の文化財の保存について	花巻城跡地については、市の文化を残す大切なところだと思うが、このほかにも市内にまとまってある現存している貴重な文化財について今後どのようにして残していこうと考えているか。	花巻城跡地については、残すように検討している。この前、武徳殿の後ろの一部の土地を購入した。この土地は花巻城が壊れてから、これまで一切建物が建ったことはなかったので、発掘すれば何かしら出てくると思う。今後の話だが、ほかに伊藤家の住宅をどうするか教育部で委員会を組織して検討している。今後の花巻城をどうやって保存できるか、保存していくべきなのか検討していきたい。
11	H27.8.31	市政懇談会 (H27)	太田	総合政策部	地域づくり課	市政懇談会について	本日の市政懇談会で市長からお話しをいただいたが、市長講話というより、市の施策についてのお知らせのように感じた。でも、市長からのお話は非常にわかりやすく丁寧な話であり大変良かったと思う。	市長講話については、文言が固く感じるので表現を変えることとした。 以後開催の市政懇談会では「市の取り組みについて」という表現に変更済

番号	年月日	種別	地区名	担当部	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
12	H27.8.31	市政懇談会 (H27)	太田	農林部	農政課	農業所得の向上について	花巻市の基幹産業である農業の所得についていかに向上させることができるかが非常に難しいがもっとも大事なことだと考える。この問題に対してどのように取り組んでいくのかを農協任せにしないで、真剣に取り組んでいただきたい。	農業については農協任せとは思っていないので農協とも連携して対応していきたいと考えている。